

## 平成 23 年度 府立大塚高等学校 経営計画

## 1 めざす学校像

「大塚だからできる！大塚は夢をかなえる！大塚からはばたけ！」

～大塚は社会的自立、社会貢献のできる生徒を育てます～

< 普通科・体育科 >

- ・生徒の第一希望をかなえる学校
- ・進学にも就職にも強い学校

< 普通科 >

- ・多様な生徒の幅広い教育ニーズに応える普通科
- ・地域に根ざした普通科

< 体育科 >

- ・競技力の向上と広く府民の体育・スポーツの振興・発展の拠点校をめざす体育科

## 2 中期的目標

## (1) 確かな学力の向上

新学習指導要領を踏まえ、生徒のニーズに応えた教育課程を編成して学習指導の充実を図る。

- ・IT、少人数展開・習熟度別・ICT活用、選択科目の充実等を図り、生徒が満足できる授業を展開する。
- ・モーニングタイムの活用や短期集中講座の実施により基礎基本を継続的にサポートする。

授業改善に積極的に取り組み、教員の授業力向上を図る。

- ・校内研究授業期間を設け、教員相互の自主的な授業観察、授業評価を行う。
- ・生徒による授業評価、授業参観での保護者の授業評価を積極的に行う。
- ・高校間連携（近隣高校）による研究授業を推進する。
- ・卒業アンケートで「3年間勉学に一生懸命取り組めた」と答える生徒（過去平均74%）、「大塚で3年間学んで学力面で伸びた」と答える生徒（過去平均66%）をそれぞれH25年度には80%とする。

## (2) 志や夢のはぐくみ

生徒が自分の意志と責任で進路を選択できるようにガイダンス機能（的確な情報提供・進路HR・進路相談）の充実を図る。

- ・進路面で「第1希望をかなえることができた」と答える生徒（H22、62.3%）をH25年度には80%とする。高大連携を推進するとともに、大学見学会やオープンキャンパス等に生徒・保護者が積極的に参加できる機会を設ける。

3年間見通した継続的、系統的な進路講習を整備し全校的に計画的に実施する。

- ・大学進学率（H22、47%）をH25年度には55%、センター試験受験者（H22、3名）を10名以上とする。「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業を活用し、生徒のニーズに応じた就職支援を推進する。
- ・就職内定率を95%（H22、82.5%）進路未定者を1.3%（H23、2.3%）とする。

## (3) 豊かな心と社会性の育成

「あたりまえのこと（挨拶・時間厳守・ルールやマナーの遵守）をあたりまえに」を合言葉に規律規範の確立に努める。

- ・生徒全員が明るく大きな声であいさつのできる学校を維持、発展させる。
- ・遅刻総数を毎年「前年度の5%減」（H22生指遅刻1234件）を目標に、H25年度には1000件以内を達成する。教育相談体制を整備・充実し、生徒たちの心のケアに努め、安心して安全に通える学校を確立する。
- ・生徒を把握し、保護者との緊密な連携を図るため、全生徒・保護者との面談を行う。
- ・保健部、人権委員会、学年が連携したケース会議を定期的に開催する。部活動の充実を図る。
- ・普通科生徒の部活動への参加を積極的に推進し、部活動加入率をH25年度には70%以上とする。

## (4) 体育・スポーツの拠点校と開かれた学校づくり

活発な部活動と体育科の専門性を活かし、広く府民の体育・スポーツの振興発展を目標に、地元小学校や中学校を中心としたスポーツ交流やボランティア活動を推進する。

- ・「ふれあい大塚スポーツ教室」を松原市の小学生を対象に実施する。
- ・「大塚スポーツインストラクター派遣事業」を松原市、羽曳野市、藤井寺市の中学校を中心に実施する。学校説明会や体験入学、体験入部を通じて、積極的な広報活動を推進する。
- ・普通科体験入学、体育科見学説明会を年2回以上行う。
- ・中学校教員、塾関係者対象の学校説明会を計画実施する。

### 3 本年度の重点目標と取組み

	目標	取組内容	評価指標
取組み	確かな学力の向上	<p>今年度中に平成 25 年度からの教育課程を編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(普通科)基礎基本を徹底し、一人ひとりの進路実現につなげるカリキュラム編成 (体育科)スポーツについての専門的な理解と高度な技能の習得、それに伴う競技力の向上を目指すカリキュラム編成</li> <li>・教育課程編成に伴い、学習評価や成績処理等の教務内規全般について見直しを行う。</li> </ul> <p>授業力向上に向けての取組を積極的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の研究授業期間を 1 学期、2 学期に設定し、すべての教科で研究授業を行う。</li> <li>・ICT の授業への積極的活用を図る。</li> <li>・平野、松原、生野高校と連携し、初任者を中心に研究授業を実施する。</li> <li>・授業改善委員会(首席・教務主任・各教科代表等)を編成し、生徒による授業評価の実施・集約、分析・改善等のシステムを確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の完成</li> <li>・教務内規の改訂</li> <li>・研究授業期間を 1 学期と 2 学期の年 2 回実施</li> <li>・高校間連携は、各校輪番で 1 回実施</li> <li>・授業改善委員会による授業評価の実施(年 1 回)</li> </ul>
取組み	志や夢のはぐくみ	<p>ジョイントゼミ(大学・短大・専門学校関係者を招いた説明会、模擬授業、体験実習)等の充実、発展を図る。進路指導部が主体となり、学年、学科ごとの進路講習をシステム化する。</p> <p>「志学」を学習計画に沿って円滑に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊研修における自然体験活動や集団行動、保育実習や地域清掃等を通じて豊かな人間性、規範意識、マナー等をしっかりと身に付けさせる。</li> </ul> <p>「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業推進校として、就職内定率を 90%、進路未定者を 2%とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョイントゼミ等の満足度 80%以上の実現</li> <li>・大学進学率 45%以上</li> <li>・センター試験チャレンジ 10 名以上</li> <li>・第 1 希望をかなえることができた 68%以上(H22 の 5 P 増)</li> </ul>
取組み	豊かな心と社会性の育成	<p>朝の立ち番指導での生徒への声掛けを積極的に行い、挨拶励行・遅刻指導の徹底を図る。</p> <p>教育相談体制を整備充実し、ケース会議を定期的開催する。</p> <p>部活動の充実に向けて、施設設備(シャワールームの設置、ミストの設置、新トレーニングルームの多目的化)の整備、育成会(保護者による部活動支援)の充実を積極的に推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者数の前年度 5%減</li> <li>・ケース会議を毎月 1 回開催する。</li> <li>・普通科の部活動入部率の前年度 10%増</li> </ul>
取組み	体育・スポーツの拠点校と開かれた学校づくり	<p>「ふれあい大塚スポーツ教室」を積極的に実施する。</p> <p>「大塚スポーツインストラクター派遣事業」を積極的に実施する。</p> <p>文化部を中心に、松原市地域フェスタや市民文化活動に積極的に参加する。</p> <p>スーパーインストラクター招聘事業等、府のスポーツ関連事業を積極的に活用し、競技力の向上を図る。</p> <p>中学校教員(塾関係者含)対象の学校説明会を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあい大塚スポーツ教室」を年間 2 日以上実施</li> <li>・中学校教員対象の学校説明会を年 2 回実施</li> </ul>